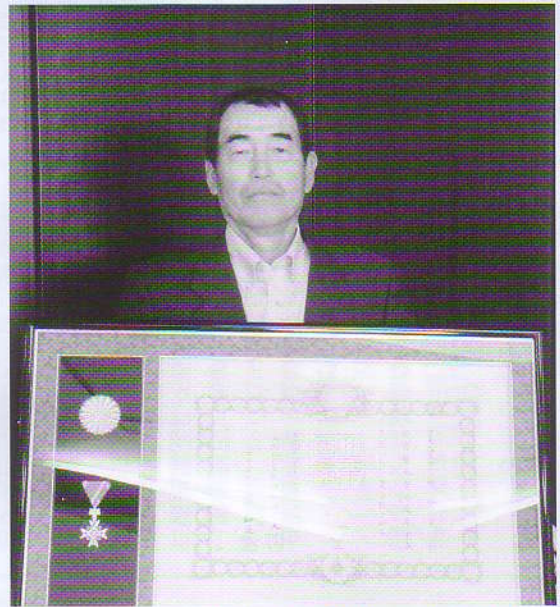


平成21年秋の叙勲 瑞宝双光章を受章



猪狩晃一さん(西町)



瑞宝双光章を受章した猪狩さん

政府が発表した平成21年秋の叙勲で猪狩晃一さん(西町)が瑞宝双光章を受章されました。

猪狩さんは町民の生命財産を守るという使命遂行のため、昭和37年(1962年)から平成17年(2005年)までの43年あまり、消防団員として分団長、副団長、団長を歴任されました。

平成5年11月の集中豪雨では分団長として町民の皆さんを迅速に避難させ、夜を徹して被害拡大防止にあたりました。

団長時代には福島民友新聞社より「民友旗」を受賞しました。この賞は、県内の優良消防団に送られるもので、「駅前をパレードしたことが印象に残っています。」と当時を振り返る猪狩さん。

奥さんも「サイレンの音に敏感でした。火事の電話が入ったとき、連絡体制を早くすることを考えていました。」と陰ながら猪狩さんを支えました。

「消防団員の皆さんには体には気をつけてください。」とアドバイスを送りました。おめでとうございました。

先進地視察研修に参加して

福島トンボ(株)

広野町消費生活友の会

会長 新田 里子



参加した消費者友の会のメンバー

消費生活友の会員8人と事務局1人は去る10月14日に南相馬市に「トンボ学生服」で名の通る「福島トンボ(株)」を視察見学しました。

鎌田社長さんからのお話によると、美しい制服姿を実現するために各学校を訪問し、先生と保護者とのお話の中で豊富なデザインから最適なスタイルを提案し、心地よい制服づくりへと活動されている会社でした。最近、中高校生の可愛い制服姿の生徒が多方面で目に留まります。中には襟をはずした詰襟の学生

服をもっとすっきりとしたデザインに考案し、学校、生徒のイメージアップに推進しているとの事でした。

私たちの目的は「リサイクル」および「環境保全」についての研修です。いろいろなお尋ねしたところ、着用品の制服のリサイクルを通して、地球環境、資源の大切さ、海外支援とあらゆる活動をされておりました。その1つとして、21世紀の担い手である子どもたちに資源の大切さを学べる最良の機会を作り、学校に『リサイクルボックス』を設置して不要になった制服

および衣類のゴミ削減に伴い、環境や生命を守る大切さを広める運動をされておりました。

回収された衣類は再生品(玄関マット、モップ等)に生まれ変わり各学校に無償で配布しているとのことでした。また、リサイクル用のビデオでペットボトルから再生繊維のできるまでの行程の説明も受け、驚くことばかりでした。

また、当日は、エコ商品を販売している「いととんぼ」直売所にも立ち寄りしました。手作り「マイバック」の展示説明を受けながら生活環境が今、どう変化しているのかを互いに交流会の中で話し合っ

また、今年度新たにエコ推進を目的に衣類リサイクルコーナーを設置して町民へのご協力を呼びかけましたところ、みかん箱166個分の大量の衣類が回収され、今後このような取り組みを望む声が聞かれました。

2日目の食育コーナーではブロッコリー、にんじん入りの米粉蒸しパン、芋ようかんの試食を行い、地元産の野菜のPRを行いました。

また、11月21・22日には三郷市の産業フェスタへ参加し、米をはじめ本町産の野菜や加工品などの販売を実施いたしました。また温暖な本町の気候風土を多くの来場者の皆さまに知っていただくため、「みかん」の試食を行いましたところ、「甘酸っぱさが昔懐かしい味」との評判をいただくなど、好評を博したところであります。

教育委員会関係事業

去る10月27日、町行政および議会への関心と理解を深め、その体験を生徒会活動等学校生活で役立てもらうことなどを目的に、広野中学校3年生による「広野町子ども議会」を本議場において開催いたしました。

15人の生徒が質問に立ち、町の企業誘致、商店街の活性化、教育環境の施設整備、通学路の安全対策、さらには防災行政、医療費の無料化や将来の広野町への期待など中学生の視点から活発な意見があり、子どもたちにとって貴重な体験となったものと考えております。

また、学校情報通信技術環境整備事業に係る備品購入については、去る11月30日に入札を執行し、今期定例会に備品購入契約案件を上程いたしました所であります。

さらに、学校等における新型コロナウイルスの発生状況については、9月末に初めて発生が確認されて以来、幼稚園、小学校などでも罹患者が認められ、小学校6学年をはじめ感染拡大が懸念されたことからそれぞれ学年閉鎖の措置を講じました。

次に、公民館事業について申し上げます。まず、スポーツ関係につきましては、9月27日に第2回市町村対抗軟式野球大会が福島市あずま球場で開催され、本町ドリムチーム編成のもと小野町チームと対戦しましたが、おしくも一点差で惜敗しました。

また、10月11日には、第47回双葉郡総合大会が浪江町で開催され、本町選手団は、先駆けて実施された球技部門と合わせ12種目、180人余が参加し、熱戦を繰り広げました。ご参加いただきました選手の方々の活躍とご健闘に厚く御礼を申し上げます。

また、10月25日にはレッドカッ

パークゴルフ大会11月29日には二ツ沼パークゴルフ場オープン記念大会が開催され、内外の参加者を得て盛況に終了することができました。

さらに、11月15日には第21回市町村対抗福島県縦断駅伝大会が開催され、白河市から福島県庁までの総距離96・2キロメートル間で健脚を競いました。結果は参加市町村中、最下位と残念な結果に終わってしまいましたが、来年度の飛躍に向け再始動をいたしてまいります。また、本町駅伝チームの斉藤信幸監督におかれましては、20年間、本町チームの選手・コーチ・監督として、本大会に貢献されていることを称えられ表彰を受けました。斉藤監督の表彰に心よりお祝いを申し上げますと同時に、今までのご労苦に対し、敬意と感謝を申し上げます。

次に文化事業につきましては、11月7日・8日の2日間、平成21年度文化展を開催したところ、多くの町民の皆さまから創意あふれる作品が多数出品され、芸術の秋にふさわしい文化祭となりました。また、12月6日には第17回生涯学習発表会が町内12団体の出演を得て盛況裡に終了することができました。

さらに、体育施設整備関係につきましては、老朽化が著しかったテニスコートを来年3月のリニューアルに向け改修工事に着手いたしました。さらに、総合グラウンド北側に整備を予定しております多目的運動場につきましては、来年度末の供用開始に向け、実施設計に着手いたしました。また、中央体育館については、本年度上期から耐震調査を実施しておりましたが、過日結果が出て、補強工事を施さなければならぬ施設との判定に至りました。この結果を踏まえ、次年度に補強工事に着手すべく作業を進めてまいります。

さて、本定例会にご提案申し上げます案件は、

○条例案件	2件
○予算案件	4件
○契約の変更案件	2件
○財産の取得案件	1件
合計	9件であります。

いずれも町政執行上、重要な案件でありますので、慎重にご審議の上、速やかなる御議決をいただきますようお願い申し上げます。本議会召集のあいさつと町政経過の報告といたします。